

関西ジュニアカップ 男女競技規則

(2025年訂正版)



制作

関西ジュニア体操クラブ協議会

関西ジュニアカップ男子競技規則 (2025~)

	初級	中級	上級
ゆ か	12m×12m		
あん馬	円馬60~70cm	あん馬115cm (50cmまでの跳びつき台の使用可) ※ジュニア用ボメルでの実施	あん馬115cm (跳びつき台の使用可)
つり輪		265cm	265cm
跳馬	跳馬110cm	跳馬120cm <small>跳躍版はコイルを外し(2-1-2)の使用を認める。</small>	跳馬125cm
平行棒		185cm ※マット面より165cm	195cm ※マット面より175cm
鉄棒	245cm	275cm	275cm

- ◇ 競技規則については、初級は関西ジュニアカップ男子適用規則、中級は2025年版U-12男子適用規則、上級は2025年版U-15男子適用規則とし、男子体操競技情報最新号までを適用する。
- ◇ 寸度については床面からの計測とするが、初級あん馬はマット面からの計測とする。
- ◇ 規定の寸度に微妙に合わない場合は近いほうに合わせる。
- ◇ 初級あん馬の採点規則及び演技内容は春の西宮大会のものを採用する。
- ◇ 各級共に禁止技については削除する。また、アップ時に選手が行う技が未習熟で危険を伴うと判断できる場合、主任審判の権限であらかじめ実施不可の警告を行います。この警告を無視して実施した場合、その種目の得点は0点とする。

配点

	初級	中級	上級
要素	6技		
難度	1.80 (0.30×6)		
特別要求	0.90 (0.30×3)		
加 点	0.20 (跳馬は0.30)		
実 施	7.10		
ゆ か	演技時間70秒以内 <small>※60秒と70秒の時間経過を音による合図で知らせる</small>		
あん馬	円馬による旋回(10周) <small>※ジュニア体操西宮大会(春)の規定演技</small>		
跳馬	2助走1試技		
吊り輪			
平行棒			
		日本体操協会 2025年版U-12男子適用規則	日本体操協会 2025年版U-15男子適用規則

採点 ・ 特別要求

	初級	中級	上級
ゆ か	①前方系又は後方系の跳躍技 ②片足上でのバランス静止技 または倒立静止（2秒） ③柔軟性を表現する技（2秒）		
あん馬	規定演技 円馬による旋回（10周）		
跳 馬	以下の表のようにそれぞれの跳躍技に 独自の基礎点を定める		
	a) 前転とび群 前転とび・・・・・・・・ 9.20 前転とびひねり・・・・・・・・ 9.30 前転とび1回ひねり・・・ 9.50 前転とび3/2ひねり・・・・ 9.70 b) ツカハラとび群 かかえこみツカハラとび・・ 9.50 屈身ツカハラとび・・・・ 9.70 c) 前転とび前方宙返り群 前転とび前方かかえこみ宙返り・9.70	日本体操協会 2025年版U12男子適用規則	日本体操協会 2025年版U15男子適用規則
	上記にない跳躍技は2025年度版採点規則の 価値点（Dスコア）から以下のように判定される 2.0～ →9.70 1.6～1.8 → 9.50 1.5以下 → 9.40		
鉄 棒	①懸垂振動ひねり技 ②支持回転技 ③終末技		
つり輪			
平行棒			
その他	◇ 技の繰り返しは二回まで認める。 ◇ 実施減点は、小欠点（0.10）・中欠点（0.20） ・大欠点（0.30）・落下（0.50）とする。 ◇ 9.0以上の演技に対し0.05採点を採用する。		

関西ジュニアカップ女子競技規則 (2025~)

	初級	中級	上級
跳馬	跳馬110cm	跳馬125cm	
段違い平行棒	上255cm 下175cm		
平均台	125cm		
ゆか	12m×12m		
課題	自由演技		
競技規則	関西ジュニア制定規則	2025年版変更規則Ⅱ ※1 (一部変更して適用)	2025年版変更規則Ⅰ

※1 跳馬…第二空中局面で一回以上のひねりを伴う前方宙返り、又は後方宙返りは無効とする

関西ジュニアカップ 女子規則 ◇初 級◇ (2025～)

	内容	構成要求(CR)	花丸加点	内訳
跳 馬	Dスコア3.20以上の跳躍技を実施された場合、それぞれの跳躍技にDスコア3.20が与えられる	2回の跳躍を実施し、良い方のスコアを有効点とする	着地が止まる +0.30	Dスコア 最大3.50
				Dスコア最大3.20 + 花丸加点 0.30
				Eスコア 10.00
段 違 い 平 行 棒	終末技を含む最大8つの技から難度点を数える	①低棒と高棒で少なくとも1つ以上の技を実施 ②開始技(逆上がりは認められない) ③空中局面を伴わない棒に近い回転系の技 ④後ろ振り上げ倒立(閉脚/開脚) 終末技ボーナス: A難度の終末技のみに対して0.20のボーナスが与えられる ※低棒で終末技を実施した場合、難度点及び終末技ボーナスは与えられない	膝・つま先の緩みのない美しい姿勢での演技 +0.30	Dスコア 最大4.00
				DV 最大1.50 CR 最大2.00 終末技ボーナス0.20 花丸加点 0.30
				Eスコア 10.00
平 均 台	※同一技は2回まで難度点として数えることができる	①180度の開脚(前後/左右)または左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ ②ターン(グループ3) ③前方/側方のアクロバット系の技 ④後方のアクロバット系の技 終末技ボーナス: A難度の終末技のみに対して0.20のボーナスが与えられる	膝・つま先の緩みのない美しい姿勢での芸術的な演技 +0.30	Dスコア 最大4.00
				DV 最大1.50 CR 最大2.00 終末技ボーナス0.20 花丸加点 0.30
				Eスコア 10.00
ゆ か	平均台・ゆかの演技時間(90秒まで)	①180度の開脚(前後/左右)または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つの異なるリープまたはホップ(難度表にある)直接または間接(ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シエネターンが入った)の組み合わせでの移動 ②ターン(グループ2) ③前方/側方のアクロバット系の技 ④後方のアクロバット系の技 終末技ボーナス: A難度の終末技のみに対して0.20のボーナスが与えられる ※同一技は認められず、アクロラインでなければならない	膝・つま先の緩みのない美しい姿勢での芸術的な演技 +0.30	Dスコア 最大4.00
				DV 最大1.50 CR 最大2.00 終末技ボーナス0.20 花丸加点 0.30
				Eスコア 10.00

◇関西ジュニア適用規則以外は、2025年版日本体操協会制定採点規則を適用する

※変更規則でA難度として認められている技は構成要求に使用できない

※短い演技については、2025年版日本体操協会制定採点規則、変更規則を適用する

◇2025年版日本体操協会制定採点規則「第8章一般欠点と減点表」及び「種目特有な実施減点」を適用し採点を行う

平均台、ゆかの「芸術性と構成の減点」に関しては変更規則Ⅱを適用する

ただし、以下の減点については削除する

①段違い平行棒:低棒から高棒へジャンプして移動する -0.50

②平均台:採点規則の難度表に記載されていない開始技 -0.10

③終末技:段違い平行棒、平均台は採点規則の難度表に記載されていない終末技を実施しても「終末技なし」の減点は適用しない

ゆかはアクロラインがない、またはアクロラインが1つしかない実施でも「終末技なし」の減点は適用しない

◇Dスコア 最大4.00(段違い平行棒・平均台・ゆか)

難度点(DV) 最大1.50 A難度0.10 / B難度以上0.20で算出

構成要求(CR) 最大2.00(各0.50) 終末技ボーナス0.20 花丸加点0.30

※平均台・ゆかでは数えられた8つの技の中には少なくとも以下を含めなければならない

・3つのダンス系の技 ・3つのアクロバット系の技 ・残りの2つの技は任意の選択